

# 2018年3月期第2四半期 決算説明資料



株式会社 ヴィンクス  
2017年 11月 29日

証券コード：3784

## 東京証券取引所市場第一部指定について

2017年10月17日  
当社株式は東京証券取引所  
第一部銘柄に指定されました。



これもひとえに、株主の皆様をはじめ、お客様、お取引先様など、多くの関係者の皆様の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当社グループは、「人々の暮らしと流通企業のビジネス活動を情報システム技術で融合し、豊かな社会の実現に貢献します。」という経営理念のもと、今後も皆様のご期待にお応えできますよう、更なる業容の拡大と企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 目次

## 1. 2018年3月期第2四半期の決算概要および通期業績予想

- ・決算ハイライト … P 4
- ・分野別状況 … P 6～7

## 2. 2018年3月期第2四半期の主なトピックス

- ・営業活動における主なトピックス … P 9
- ・その他のトピックス … P 10～11

## 3. 研究開発および製品投資の状況

- ・流通業をとりまく環境の変化 … P 13
- ・AI関連サービス、AI需要予測、ロボットPOS、  
マルチ決済POS、セルフPOS、自動発注 … P 14～21

## 4. B / S および C / F

- ・財政状況 … P 23
- ・キャッシュ・フローの状況 … P 24

# 1. 2018年3月期第2四半期の 決算概要および通期業績予想

# 決算ハイライト

## 【2017年上期 総括】

### ＜売上高＞

売上高につきましては、既存顧客への更なる深耕は進めているものの、ストック型ビジネス（サービス事業）への移行に伴い受注から売上計上までの期間が長期化した影響などにより計画値、前年値とも下回る結果となりました。

### ＜営業利益＞

利益面につきましては、業務効率及び生産性の向上やコスト削減を図り原価低減に努めた結果、計画値、前年値とも上回りました。

単位：百万円（百万円未満切捨て）

| 科目名                    | 2017年上期実績     |       | 計画対比   |        |      |       | 前年同期比  |        |     |       |
|------------------------|---------------|-------|--------|--------|------|-------|--------|--------|-----|-------|
|                        | 実績値           | 売上比   | 計画値    | 計画比    | 計画差  | 売上比   | 前年値    | 前年比    | 前年差 | 売上比   |
| 売上高                    | <b>12,788</b> | —     | 12,860 | 99.5%  | ▲71  | —     | 12,852 | 99.5%  | ▲63 | —     |
| 売上総利益                  | <b>2,699</b>  | 21.1% | 2,820  | 95.7%  | ▲120 | 21.9% | 2,582  | 104.5% | 116 | 20.1% |
| 販売管理費                  | <b>1,976</b>  | 15.5% | 2,110  | 93.7%  | ▲133 | 16.4% | 1,885  | 104.8% | 91  | 14.7% |
| 営業利益                   | <b>722</b>    | 5.7%  | 710    | 101.8% | 12   | 5.5%  | 697    | 103.7% | 25  | 5.4%  |
| 経常利益                   | <b>719</b>    | 5.6%  | 680    | 105.9% | 39   | 5.3%  | 661    | 108.8% | 58  | 5.1%  |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 ※ | <b>417</b>    | 3.3%  | 450    | 92.7%  | ▲32  | 3.5%  | 426    | 97.8%  | ▲9  | 3.3%  |

※親会社株主に帰属する四半期純利益は、連結子会社の事務所移転に関する特別損失等の影響により、計画値、前年値とも下回る結果となりました。

# 決算ハイライト

## <連結業績予想などの将来予測情報に関する説明>

2018年3月期通期業績予想値は、売上高275億円、営業利益13億円20百万円、経常利益12億60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億60百万円を見込んでおります。2017年5月10日付の公表値から変更はございません。

注) 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想値と異なる結果となる場合があります。

## <配当方針、配当見通し>

当社は、株主様への利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しており、配当金につきましては、企業価値の向上とその水準の維持を可能とする範囲において、事業拡大のための内部留保を勘案しながら決定することを基本方針としております。内部留保資金につきましては、今後予想される事業規模拡大のため新規事業および新製品の開発に対し有効に投資してまいります。

|             | 中間配当金 | 期末配当金 | 年間配当金合計 | 配当性向（連結） |
|-------------|-------|-------|---------|----------|
| 2017/3期     | 10    | 10    | 20      | 20.6 %   |
| 2018/3期     | 10    |       |         |          |
| 2018/3期（予想） |       | 10    | 20      | 20.6 %   |

# 分野別状況

1. プロダクト分野につきましては、ANY-CUBE等のパッケージの受注が好調に推移し、売上高、営業利益とも計画値・前年値を上回りました。
2. ソリューション分野につきましては、既存の大手顧客の投資増加により、前年値を上回りましたが、ストック型ビジネス（サービス事業）への移行に伴い、計画値を下回る結果となりました。
3. アウトソーシング分野につきましては、大手顧客のシステム停止に伴う契約終了により、前年値を下回る結果となりました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

| 【売上高】<br>分野 | 2017年上期 |        | 計画対比   |        |      | 前年同期比  |        |        |
|-------------|---------|--------|--------|--------|------|--------|--------|--------|
|             | 実績値     | 売上比率   | 計画値    | 計画比    | 計画差  | 前年値    | 前年比    | 前年差    |
| アウトソーシング分野  | 5,302   | 41.5%  | 5,538  | 95.8%  | ▲235 | 6,463  | 82.0%  | ▲1,161 |
| ソリューション分野   | 4,232   | 33.1%  | 4,649  | 91.0%  | ▲417 | 3,417  | 123.8% | 814    |
| プロダクト分野     | 1,214   | 9.5%   | 1,029  | 118.0% | 185  | 556    | 218.3% | 658    |
| その他IT関連分野   | 2,038   | 16.0%  | 1,642  | 124.1% | 396  | 2,414  | 84.4%  | ▲375   |
| 合計          | 12,788  | 100.0% | 12,860 | 99.5%  | ▲71  | 12,852 | 99.5%  | ▲63    |

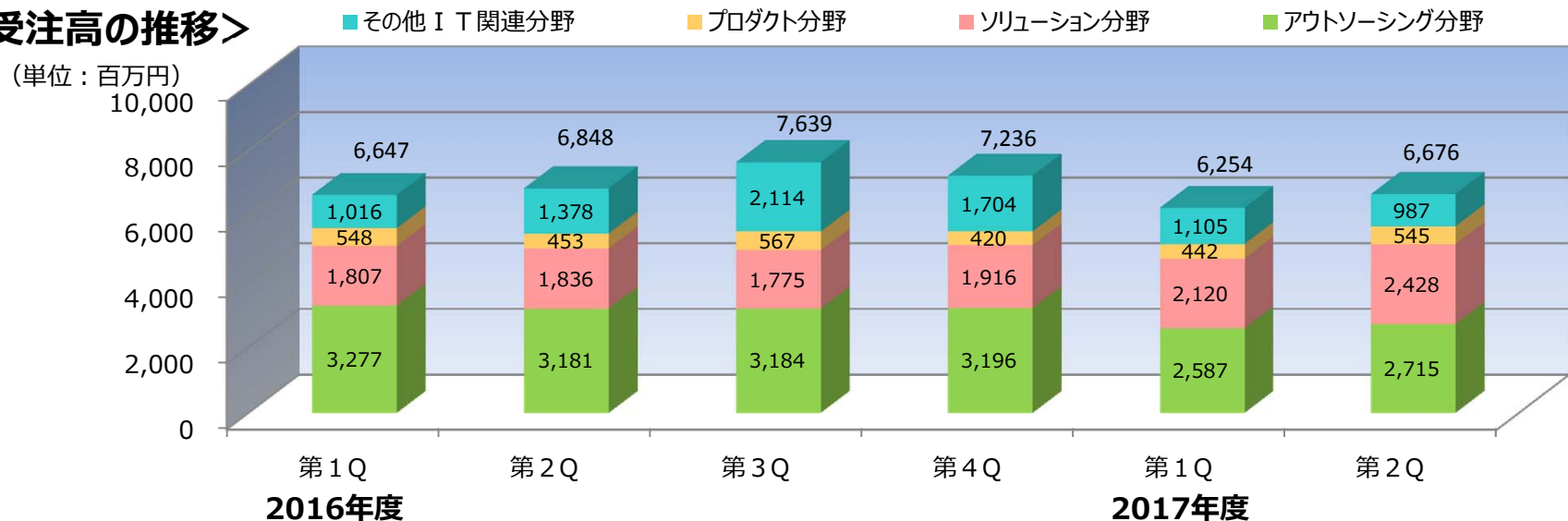
| 【営業利益】<br>分野 | 2017年上期 |      | 計画対比 |        |     | 前年同期比 |        |      |
|--------------|---------|------|------|--------|-----|-------|--------|------|
|              | 実績値     | 売上比率 | 計画値  | 計画比    | 計画差 | 前年値   | 前年比    | 前年差  |
| アウトソーシング分野   | 265     | 2.1% | 306  | 86.8%  | ▲40 | 395   | 67.1%  | ▲130 |
| ソリューション分野    | 344     | 2.7% | 303  | 113.6% | 41  | 250   | 137.9% | 94   |
| プロダクト分野      | 70      | 0.6% | 65   | 108.0% | 5   | 13    | 506.7% | 56   |
| その他IT関連分野    | 42      | 0.3% | 35   | 120.1% | 7   | 37    | 111.5% | 4    |
| 合計           | 722     | 5.7% | 710  | 101.8% | 12  | 697   | 103.7% | 25   |

※ 売上計上における事業区分の変更を一部実施しております。

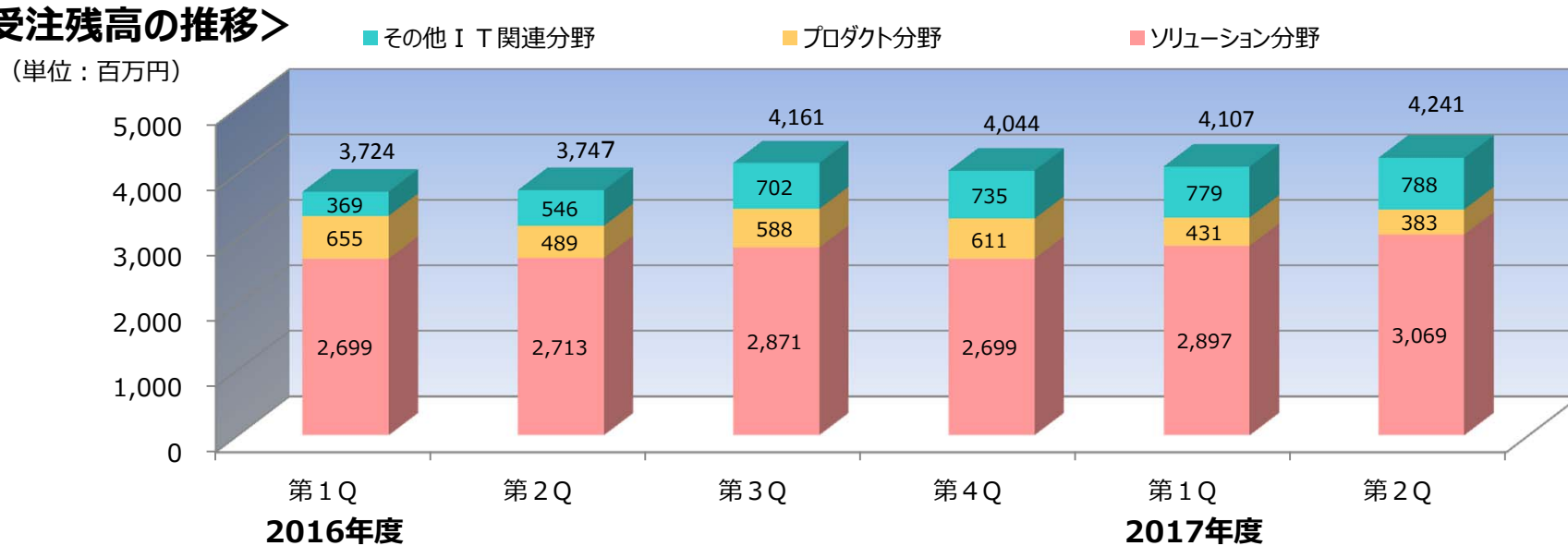
# 分野別状況



## <受注高の推移>



## <受注残高の推移>



注記：アウトソーシング分野につきましては、受注生産型の事業形態ではないため「受注残高」の記載を省略しております。



## 2. 2018年3月期第2四半期の 主なトピックス

# 営業活動における主なトピックス

|                       |  |
|-----------------------|--|
| <b>事業の拡大</b><br>リテール  | <b>スーパー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>MD基幹システム</b><br/>             関西地方を中心として展開する中堅スーパー様よりMD基幹システム「MDware」の導入展開案件を受注いたしました。</li> </ul>                    |
|                       | <b>専門店</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>次期POSシステム</b><br/>             100円ショップを展開する大手企業様より次期POSシステムの要件定義を受注いたしました。</li> </ul>                                |
|                       | <b>専門店</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>受発注システム</b><br/>             大手化粧品メーカー様ブランド商品の受発注システム案件を受注いたしました。</li> </ul>  |
|                       | <b>ドラッグストア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>決済サービス</b><br/>             関西地方を中心として展開する大手ドラッグストア様にてPOSシステムと各種決済サービスを連動させた「SoftWareCAT」が本番稼動いたしました。</li> </ul>  |
| <b>事業の拡大</b><br>グローバル | <b>流通・サービス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>テナント管理システム</b><br/>             大手総合小売業グループの中国法人様よりショッピングセンター向けテナント管理システムのリプレイス案件を受注し、サービス提供を開始いたしました。</li> </ul> |
|                       | <b>スーパー(海外)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>POS定額利用料サービス</b><br/>             大手総合小売業グループのマレーシア法人様のPOS定額利用料サービスを開始いたしました。</li> </ul>                         |
| <b>特定顧客の拡大</b>        | <b>スーパー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>電子棚札システム</b><br/>             関東地方を中心として展開する大手スーパー様より電子棚札システム開発案件を受注いたしました。</li> </ul>                               |

## 「第1回 AI・人工知能 EXPO」への出展 ～2017年 6月～

2017年 6月28日～ 6月30日 東京ビッグサイトで開催されました  
「第1回 AI・人工知能 EXPO」に出展いたしました。

会場では、流通・サービス業のお客様向けに、弊社のPOSシステムや顧客・ポイントシステム、MD基幹システムが持つデータと、SENSY株式会社（旧カラフル・ボード株式会社）のパーソナルAI「SENSY」が持つ嗜好データを組み合わせることで、課題の解決を図るソリューションをデモを交えてご紹介しました。

開催期間中は多くのお客様にご来場頂きました。  
またテレビ局などの各メディア13社より取材を受け、  
テレビ朝日・朝日放送「報道ステーション」等  
5番組で放映されました。

来年度も2018年4月4日～4月6日  
東京ビッグサイトにて開催の  
「第2回 AI・人工知能 EXPO」に出展を  
予定しています。



# その他のトピックス

## 株式会社エリアの子会社化について ～2017年7月～

2017年 7月 3日 株式の取得により、  
株式会社エリアを当社連結子会社化いたしました。



株式会社エリアは、多店舗展開している大手小売業向けに、S V i n gシステム（スーパーバイザー向け支援システム）によるトレード・オフ分析、トレンド分析や、システム開発などのITサービスを提供し、高い競争力を保持しております。

両社が保有する顧客基盤、技術力及びノウハウを相互に効率的かつ有効活用することにより相乗効果が発揮され、更なる事業規模拡大及び企業価値の一層の向上に寄与すると判断し、同社を子会社化いたしました。

### <所在地>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3丁目4番3号 N B F 池袋イースト8階

### <製品>

S V i n gシステム（スーパーバイザー向け支援システム） 他

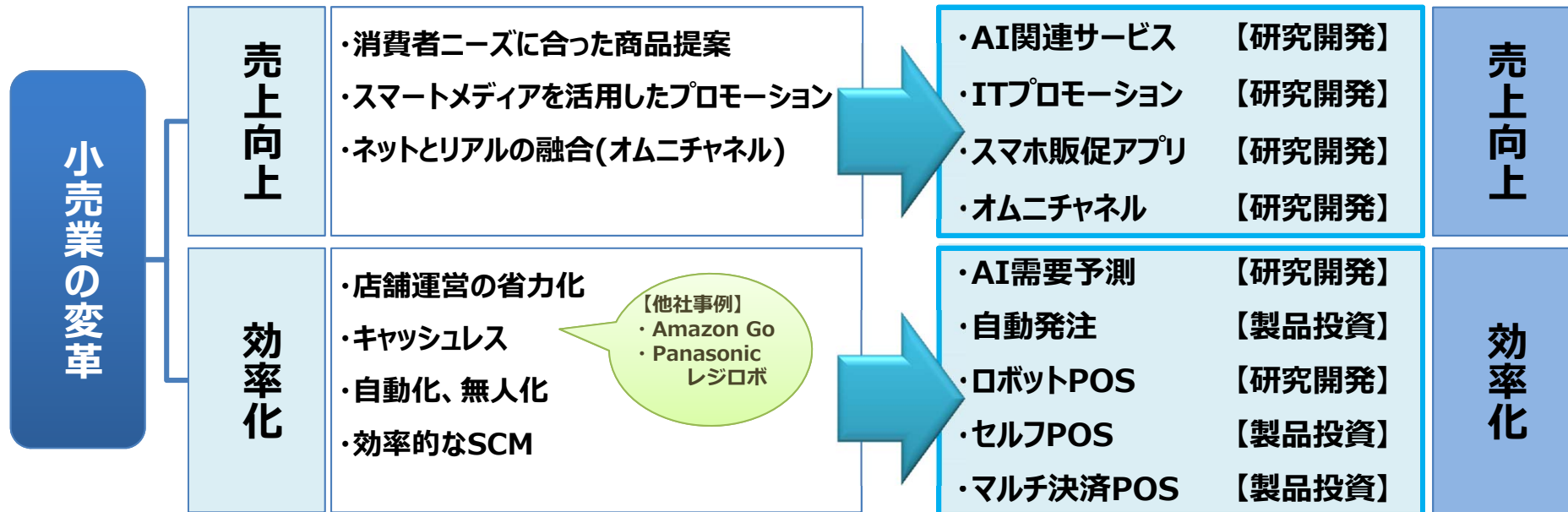
# 3. 研究開発および 製品投資の状況

# 流通業をとりまく環境の変化

## 1. 激変する環境



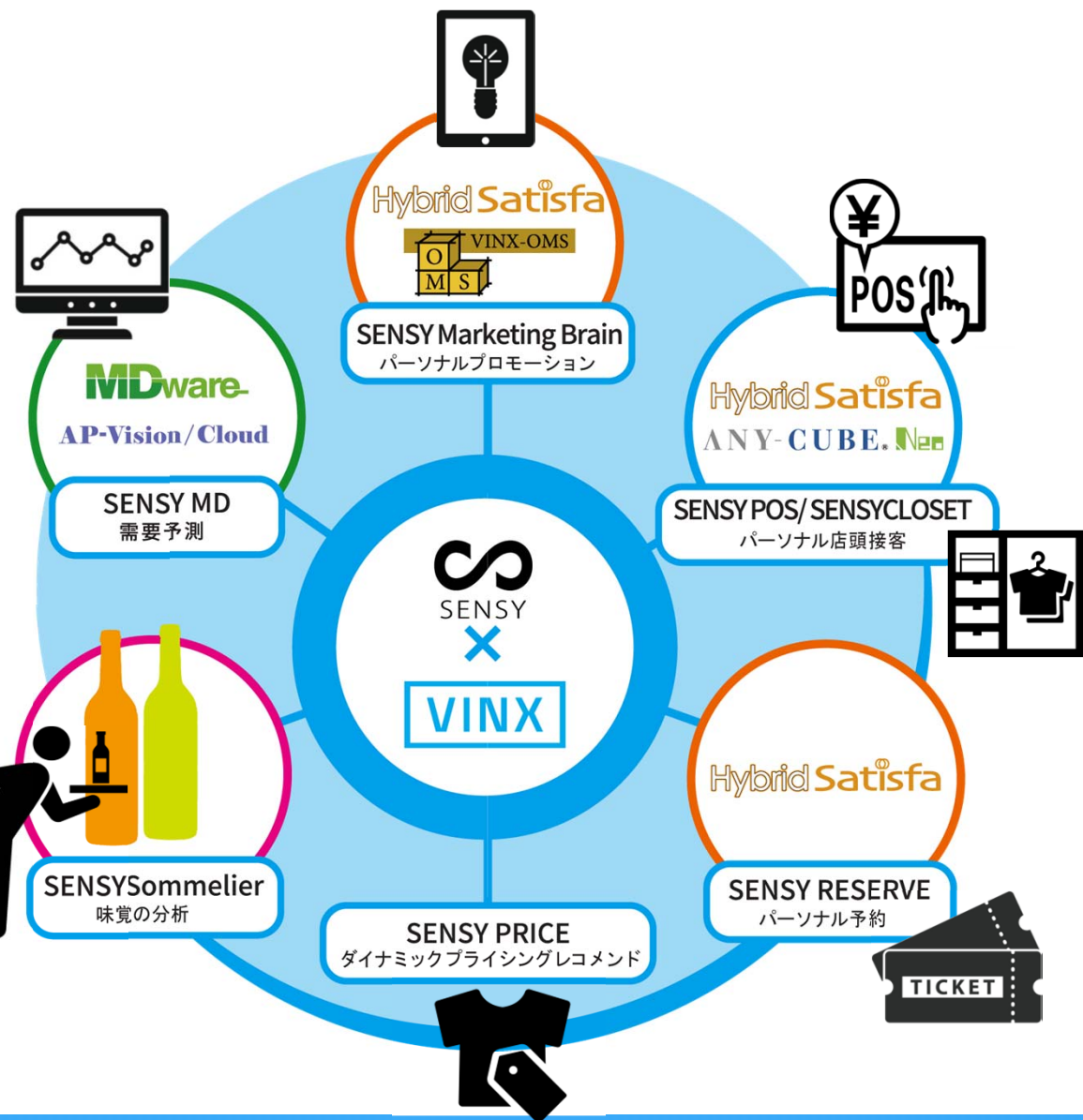
## 2. 小売に求められる対応



# AI関連サービス【研究開発】



ソフトバンクロボティクスのPepperを活用し、  
自社が独自に実施しているものです。



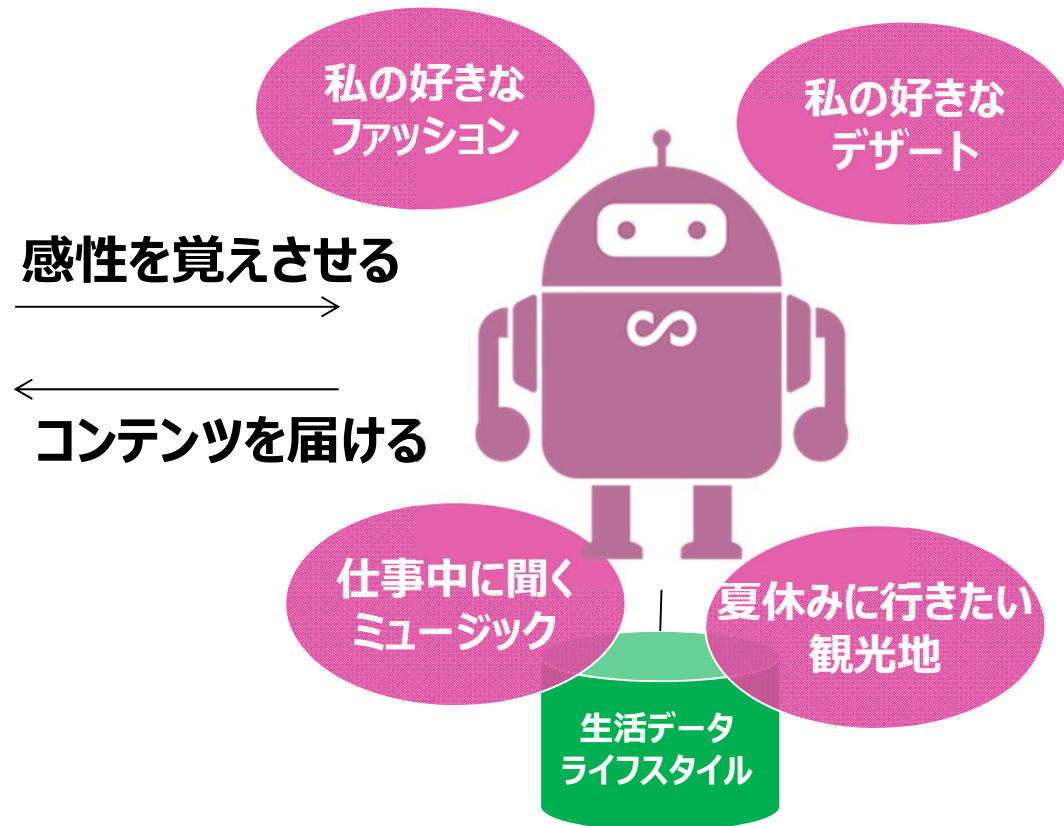
## SENSYとは

SENSYは、ユーザーの自由な時間を生み出すために、「2人目の自分」として24時間働いてくれる自分の分身のような人工知能ロボットである。

### ユーザー



### パーソナル人工知能





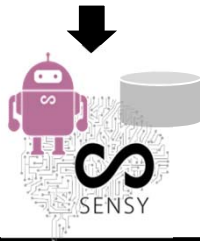
# AI需要予測【研究開発】

## SENSY MD

### AI学習用データインプット



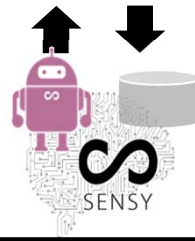
・社内外のデータをAI学習用データとして連携



### 需要予測



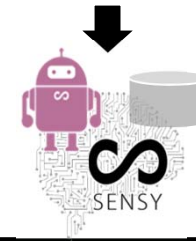
・AIによる需要予測結果を基に、MD担当者が追加発注/生産店舗振り分けを実施。  
・需要/在庫を基にAIが高利益となる売価を設定



### 評価・フィードバック



・販売結果はAIにフィードバック  
自動的に次回の需要予測に活用



- ・ MD担当の経験と勘に依存しがちな需要予測を科学的に分析・立案
- ・ 在庫を売り切り且つ高利益となる売価をAIが自動設定
- ・ 結果を自動でフィードバックし、学習を繰り返すことで、継続的に予測精度が向上
- ・ 在庫削減、機会損失の低減、MD オペレーションの高度化を実現

## SENSY MD

### 販売予測のサポート画面イメージ

**売上予測**    アイテム情報

### 売上数予測

**予測設定**

表示方法  
 累計積み上げ  
 日別売上

OFF率設定(%)

| 経過日数 | OFF率実績 | OFF率設定                          |
|------|--------|---------------------------------|
| 15   | 0      | <input type="text" value="30"/> |
| 22   | 0      | <input type="text" value="50"/> |
| 29   | 0      | <input type="text" value="60"/> |
| 36   | 0      | <input type="text" value="0"/>  |

### アイテム情報

名称: JEGGINGS ANKLE TAPERED  
ブランドID: 17  
カテゴリID: 1  
色: ブルー  
サイズ: S  
価格: 5400  
発売日: 2016-XX-XX

XS   S   M

### 予測結果

actual   prediction(default)   prediction(custom off rate)   stock

**在庫**

**値下げした場合の販売予測**

**定価で販売した場合の販売予測**

**実際の販売数**

在庫不足が予測されます。予定発注数をxxxからxxxへ見直すことを推奨します。

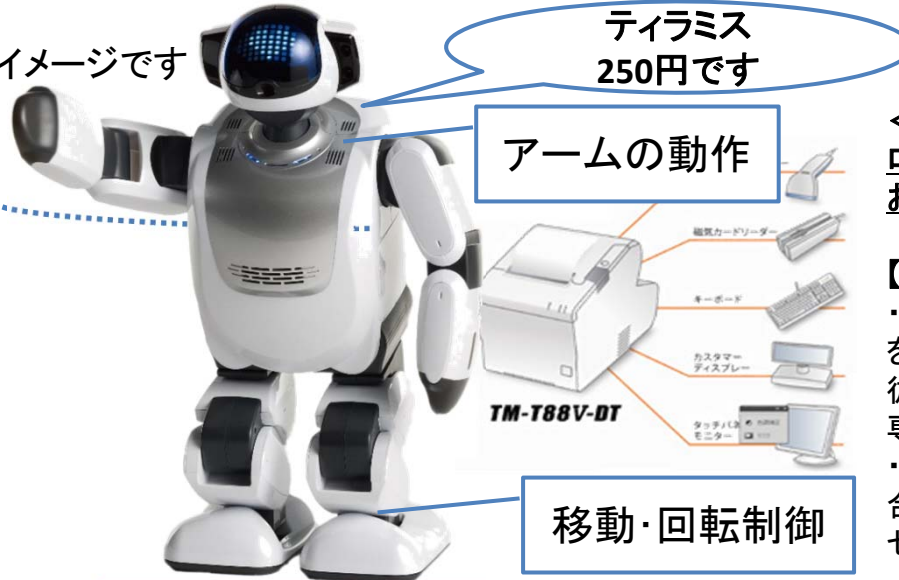
# ロボットPOS【研究開発】

## POSロボットデバイス制御の標準化

<POS上で動作するロボットインターフェイス(国際標準化)>



※イメージです



<シナリオ1>  
ロボットから外国語で  
お声がけ

【シナリオ】  
・従業員の定型のセリフをロボットに発声させて、従業員はPOS操作に専念できる。  
・ロボットがお客様に合わせて、翻訳してセリフを発声する。

<シナリオ2>  
ロボットを活用した  
セルフレジ

【シナリオ】  
・ロボットでセルフレジの操作方法を支援。  
・海外の方、お年寄りの方の操作を間違いなく対応。

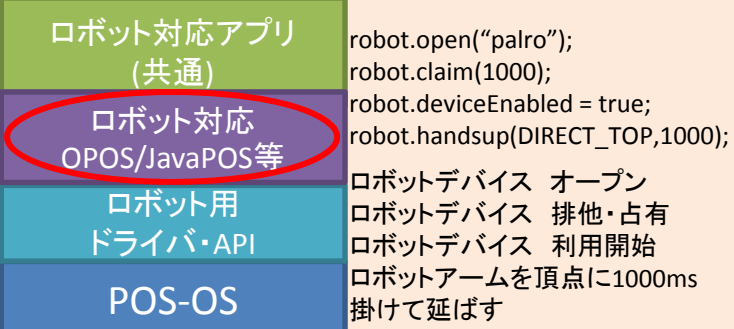
### 従来

- ・**ロボット専用の開発言語で開発**
- ・ロボット特有のAPI



これから～OPOSで制御  
(Windowsの場合)

**C#+OPOS(POS for .NET)で  
ロボット制御**



# マルチ決済POS【製品投資】

## SoftWareCAT Multi payment service

### 楽天ポイントカード対応済み

- ・多様な決済を「SoftWareCAT」と1つのリーダー端末のみで実現。
- ・新たな決済手段もソフトウェアのアップデートのみで追加可能。



レジ周りもスッキリ!

省スペース化!

＜対応決済＞

- 各種クレジットカード
- 交通系カード
- 電子マネー
  - ・Edy等
- スマホ系決済
  - ・Alipay（アリペイ）等
- ポイント決済
  - ・楽天ポイント等
- ギフトカード

IC CARD, CREDIT CARD, UnionPay, Electronic MONEY, GIFT CARD

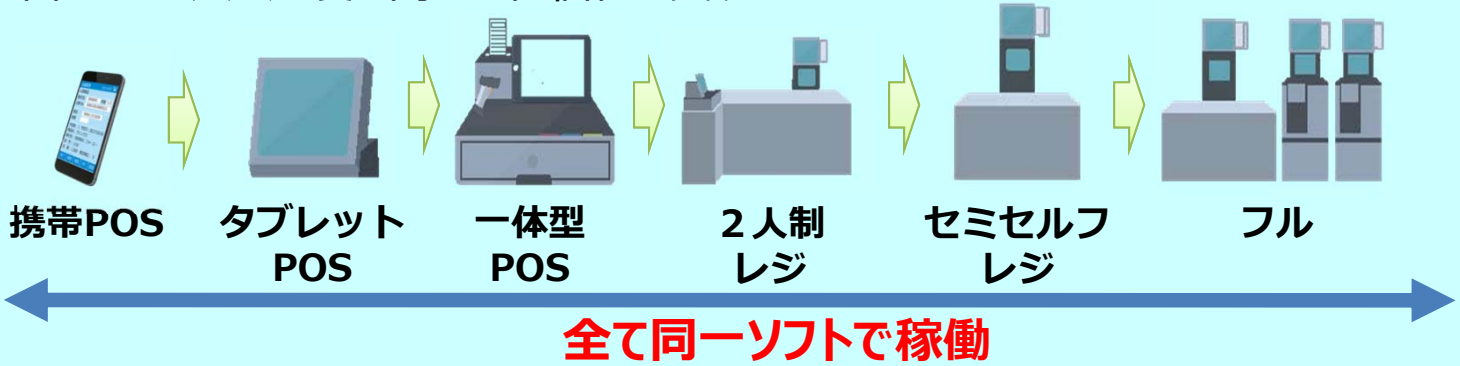
# セルフPOS 【製品投資】

## ANY-CUBE<sup>®</sup> Neo SM向けパッケージを開発中

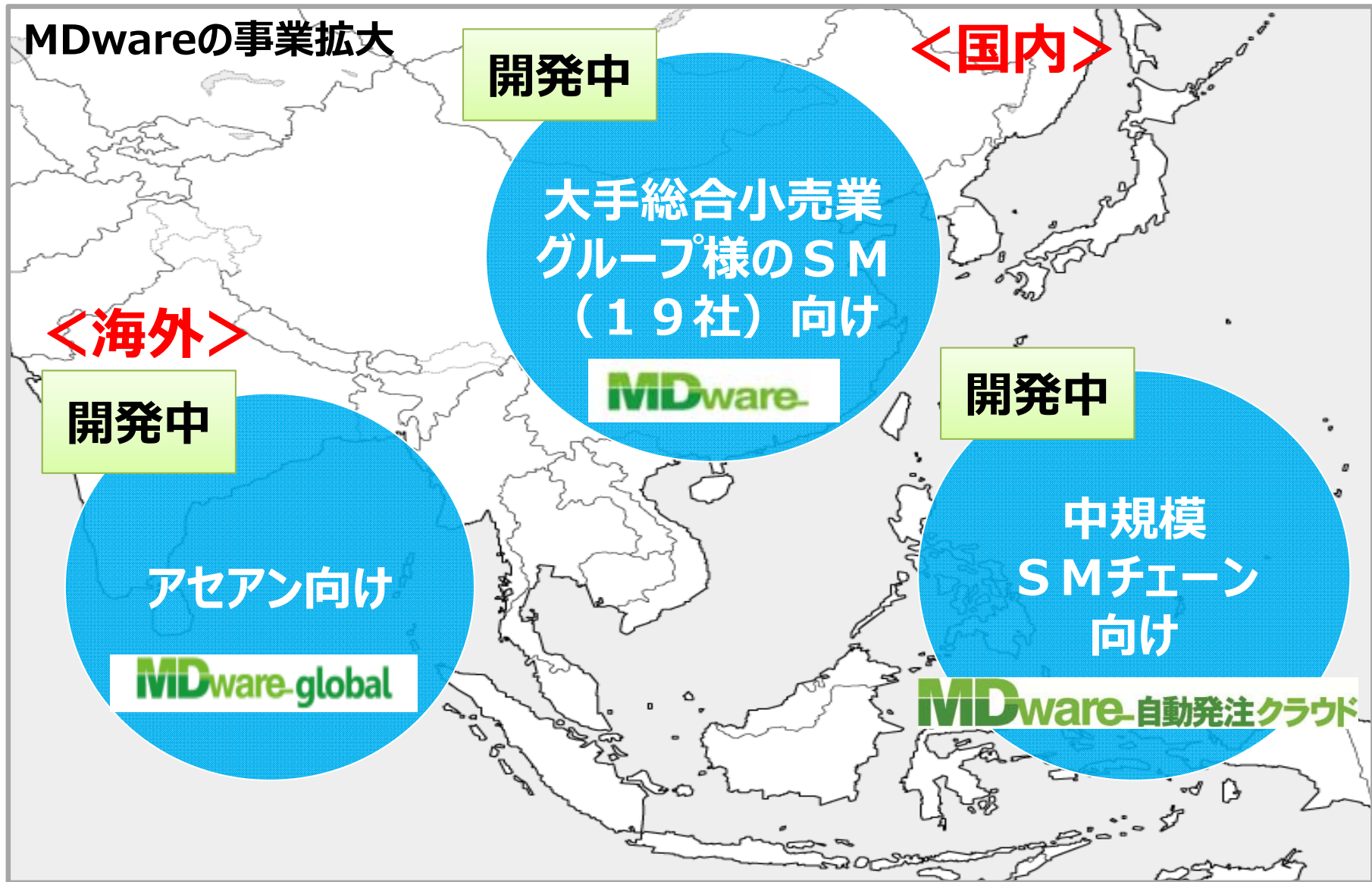
ハードウェアに依存しないPOSアプリケーション  
 導入実績：約70,000台

### ANY-CUBE<sup>®</sup> Neo 導入によるお客様のメリット

- ①タブレットや従来型POSでも動作可能なので利用シーンを選びません
  - ・チェックアウトレーン、催事場、ハンディーPOSなど
- ②異なるメーカーのPOSの連携がソフトウェアの入れ替えで可能
  - ・事業のM&A時にPOSハードウェアの買い替えが不要
- ③最新の高スペック低価格なPOS機種を選定可能
  - ・各メーカーのPOSを同じ条件で比較検討
- ④クラウドでリアルタイムに売上集計
  - ・経営の意思決定速度の向上を低価格で実現



# 自動発注【製品投資】



# 4. B / S および C / F

## <貸借対照表>

単位：百万円、%、百万円未満切捨て

| 区分         | 2018年3月期<br>第2四半期末 |            | 2017年<br>3月期末 | 差額     |
|------------|--------------------|------------|---------------|--------|
|            |                    | 構成比<br>(%) |               |        |
| 流動資産       | 11,044             | 69.9       | 12,433        | ▲1,389 |
| 固定資産       | 4,760              | 30.1       | 3,598         | 1,161  |
| <有形固定資産>   | 1,285              | 8.1        | 1,244         | 41     |
| <無形固定資産>   | 2,039              | 12.9       | 1,093         | 945    |
| <投資その他の資産> | 1,435              | 9.1        | 1,260         | 175    |
| 資産合計       | 15,804             | 100.0      | 16,031        | ▲227   |
| 流動負債       | 4,783              | 30.3       | 5,677         | ▲893   |
| 固定負債       | 2,842              | 18.0       | 2,932         | ▲89    |
| 負債合計       | 7,626              | 48.3       | 8,609         | ▲983   |
| 純資産        | 8,177              | 51.7       | 7,421         | 756    |
| 負債・純資産 合計  | 15,804             | 100.0      | 16,031        | ▲227   |

### 【貸借対照表のポイント】

前期末との比較における主な増減要因は、以下の通りです。

#### ・資産

|           |            |
|-----------|------------|
| 現預金       | 13億81百万円減少 |
| 受取手形及び売掛金 | 98百万円減少    |
| ソフトウェア    | 5億95百万円増加  |
| のれん       | 3億50百万円増加  |

#### ・負債

|              |           |
|--------------|-----------|
| 買掛金          | 6億54百万円減少 |
| 長期借入金（1年内返済） | 1億99百万円減少 |
| 長期借入金        | 2億25百万円減少 |
| 未払法人税等       | 1億28百万円増加 |

#### ・純資産

|         |           |
|---------|-----------|
| 利益剰余金   | 3億28百万円増加 |
| 非支配株主持分 | 4億13百万円増加 |



# キャッシュ・フローの状況

単位：百万円、百万円未満切捨て

|                          |        |
|--------------------------|--------|
| 税金等調整前四半期純利益             | 684    |
| 減価償却費                    | 571    |
| 仕入債務                     | ▲801   |
| その他                      | ▲149   |
| 小計                       | 305    |
| 利息、法人税等の支払額等             | ▲267   |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー ①       | 37     |
| 有形固定資産の取得による支出           | ▲191   |
| 無形固定資産の取得による支出           | ▲956   |
| 保険積立金の解約による収入            | 483    |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | ▲242   |
| その他                      | 4      |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー ②       | ▲902   |
| 長期借入金の返済による支出            | ▲466   |
| 配当金の支払額                  | ▲88    |
| その他                      | ▲60    |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー ③       | ▲616   |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額         | ▲1     |
| 現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）      | ▲1,482 |
| 現金及び現金同等物の期首残高           | 6,037  |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高         | 4,555  |

## 【キャッシュ・フロー計算書のポイント】

第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は45億55百万円となりました。詳細は以下の通りです。

### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、37百万円増加しました。

<主な要因>

|               |          |
|---------------|----------|
| ・税金等調整前四半期純利益 | 6億84百万円  |
| ・減価償却費        | 5億71百万円  |
| ・仕入債務         | ▲8億 1百万円 |

### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、9億2百万円減少しました。

<主な要因>

|                      |          |
|----------------------|----------|
| ・有形固定資産の取得           | ▲1億91百万円 |
| ・無形固定資産の取得           | ▲9億56百万円 |
| ・保険積立金の解約            | 4億83百万円  |
| ・連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 | ▲2億42百万円 |

### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、6億16百万円減少しました。

<主な要因>

|           |          |
|-----------|----------|
| ・長期借入金の返済 | ▲4億66百万円 |
| ・配当金の支払   | ▲88百万円   |

# 本資料の取扱のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

正確性を期すために慎重に行っておりますが、正確性・完全性を保証するものではありません。

また、本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は当社の公表している将来見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社ヴィンクス  
企画本部 経営企画部  
e-mail : ir@vinx.co.jp